

平成 17 年度当初予算 施策別概要

5 5 2 道路網の整備

(主担当部局 : 県土整備部)

- 55201 道路ネットワークの形成 (県土整備部)
- 55202 渋滞対策・総合交通対策の推進 (県土整備部)
- 55203 安全・快適で情報化に対応したみちづくり (県土整備部)
- 55204 適切な道路資本の維持管理 (県土整備部)

< 施策の目的 >

- (対象) 道路利用者が
- (意図) 快適かつ安全に道路を利用している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
幹線道路における移動時間数 (平均移動距離 40km あたり)	目 標 値	56.6	56.4	56.2	56.1
	実績(見込み)値	56.5	56.4		

一般国道において、自動車を利用する場合の 1 日の平均移動距離(40km)当たりの所要時間

< 平成 17 年度に残っている課題 >

県内では北勢バイパスや中勢バイパス等の主要な幹線道路の整備が遅れています。これらの整備とあわせて県管理道路の重点的、効率的な道路整備を進めることにより、第二名神高速道路、紀勢線及び東海環状自動車道等の高速道路網と一体となった道路ネットワークの形成を図ることが必要です。

県内では北勢、中勢地域を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、国道 477 号四日市湯ノ山道路等のバイパス事業を進めることで都市部の渋滞解消を図るとともに、適切な道路情報を道路利用者に提供するなど、道路の利便性の向上を促進する必要があります。

台風 21 号などにより、幹線道路が寸断されたことを踏まえ、地域のライフラインとなる道路を確保する必要があるとともに、県内に大きな被害を及ぼすことが想定される東南海・南海地震等の大規模災害に対応するため緊急輸送道路の整備も必要です。

より一層の経済的で効率的な維持補修の推進を図る必要があります。

< 平成 17 年度の施策の取組方向 >

北勢バイパスや中勢バイパス等の直轄道路事業については、15 年後に主要な幹線道路網が完成することを目指し、より一層の整備促進を図るとともに、県管理道路については、「新道路整備戦略」の重点整備箇所を中心とした道路整備に努めます。

緊急輸送道路における道路情報提供装置の設置を進めるなど、情報化に対応した快適な道づくりを進め、交通事故のない安全・安心な地域づくりに努めます。

道路災害については、早期の復旧に努めるとともに、代替路線の整備などライフラインの確保の観点から、国や市町村とも連携して計画的な緊急輸送道路の整備に重点的に取り組みます。また、道路の被災に対し迅速な応急復旧対策を検討し、その体制づくりに努めます。

交通安全施設の整備を進めるとともに、舗装、橋梁舗装に関するデータベースの充実を図り、より一層の適切な維持管理を行い、安全で円滑な通行の確保に努めます。

<主な事業>

(一部重)道路改築事業【基本事業名：55201 道路ネットワークの形成】

当初予算額： 19,529,323 千円 16,122,277 千円

事業概要：県民生活の利便性、安全性の向上に寄与する道路ネットワークの形成を目指すとともに、市町村合併を支援する道路整備を推進します。また、大規模な災害に対応するため、緊急輸送道路の整備を推進します。

(一部重)直轄道路事業負担金【基本事業名：55201 道路ネットワークの形成】

当初予算額： 10,190,559 千円 10,936,001 千円

事業概要：国が行う道路事業に対して負担金を支出することにより、県内の道路ネットワークの形成を促進し、県民生活の利便性、安全性の向上を図ります。

高度道路交通システム推進事業費

【基本事業名：55203 安全・快適で情報化に対応した道づくり】

当初予算額： 128,967 千円 90,276 千円

事業概要：最先端の情報通信技術を利用して、トンネル防災システムや道路情報提供装置を導入することにより緊急時の安全性の確保や交通事故防止、渋滞の緩和等に努めます。

公共土木施設維持管理費(道路関係分)【基本事業名：55204 適切な道路資本の維持管理】

当初予算額： 6,955,728 千円 6,314,528 千円

事業概要：道路施設の補修、補強を実施することにより、道路の走行性及び安全性の向上を図り、適切な維持管理を行います。